

早春賦(そうしゅんぷ)(2・3下 p22~24)

○歌詞を現代語訳してみよう(教科書p24参照)

- ① 春は 名のみ 風の寒さや
春とは名前だけで風の冷たさが身にしみる

谷の鶯 歌は 思えど
谷にいる鶯はさえずろうと思うけれども

時にあらずと 声も立てず 時にあらずと声もたてず
() 声も立てずにいる

- ② 氷解け去り 葦は 角ぐむ
氷は解けて 葦の ()

さては時ぞと 思うあやにく
() ()

今日もきのうも雪の空 今日もきのうも雪の空
今日もきのうも雪の空である

- ③ 春と聞かねば 知らでありしを
春と聞かなかつたならば ()

聞けば急かるる 胸の思いを
春とわかると待ちこがれるこの気持ちを

いかにせよとの この頃か
いったいどうしたらよいのだろうか

○作曲者の名前 ()
○作詞者の名前 ()